

学校だより



平成27年度 第33号

下野市立南河内中学校
発行者 日下田 英彦
H28. 3. 11

3月の俳句

卒業に贈る言葉を携えて

稲畑 汀子

私たち教員は3月が好きです。春の訪れもありますが、生徒達の3年間の成長を実感できるときだから、そして何より、3年生が中学校生活を終えいよいよ次のステージへ踏み出して行く姿を見られるからです。教師の仕事は多く、大変だなと感じることもあります。しかし、この時期、教師になり生徒の成長に関われたことを幸せに感じ、報われた思いがします。

さて、昨日3月10日（金）は本校の卒業式がありました。お陰様で本校らしく温かさで感動のある卒業式になりましたこと、保護者の皆様、地域の皆さまに厚くお礼申し上げます。

何より立派だったのは、長時間にわたる式中、3年生がしっかり前を見て真剣な表情で参加していたこと、1、2年生が3年生のために、思い出に残る卒業式にしようと準備から積極的に活動し、式中の態度も立派だったことです。また、式中に涙を見せる生徒が少なかったのも、式後に担任の先生に聞いてみたところ、生徒は最高の卒業式、笑顔の卒業式にしようという気持ちだったようです。しかし、教室に戻ってから、涙が止まらなかった生徒、「さよなら卒業生（校庭での見送り）」で泣き出してしまいう生徒もいて、改めて3年間の思いの深さを感じました。つたない文章では伝えきれないと思いますが、写真や生徒の感想から、少しでも生徒の思いを汲み取っていただければと思います。



左 笑顔での卒業証書授与
右 感動的だった答辞



担任からの励ましの握手



教室での記念撮影も最後です



担任からの最後の励まし



“さよなら卒業生”での涙



生徒からのメッセージに担任も涙



そして笑顔でお別れに



真剣な3年生の態度



合唱も立派でした



1 卒業式式辞（抜粋）

冒頭略 卒業生には2つの言葉を贈ります。

まず一つ目の言葉は「楽しい日々をありがとう」という言葉です。私からみなさんへの心からの感謝です。皆さんは、日々の学習や行事、部活動などの経験を経て大きく成長しました。授業では自ら学び、行事では豊かな心を育て、部活動等ではたくましく頑張り抜いてくれました。これは本校の教育目標そのものです。それは目指す学校像である生徒一人一人が生き生きと活動し、「今日も楽しかった。明日も頑張ろう」と思って生活していたからではないでしょうか。

また、みなさんの柔和で爽やかなあいさつと奉仕活動などで熱心に活動する姿は、学校評議員の皆さんを始め多くの方々から事あるごとにお褒めの言葉をいただきました。保護者の皆様のご家庭でのご指導のお蔭ではありますが、その力がまとまり、集団となったときには本当に大きな力となることを実感いたしました。そして、体育祭や夕顔祭などの行事では、本校の伝統である自主性を生かし、特に3年生が1、2年生を引っ張り、主役となって私たちの期待以上の成果をあげてくれました。伝統を生かしながらも新しい風を吹き入れてくれたのです。下級生にとっては本当に頼りになるあこがれの先輩だったのではないのでしょうか。学校からご家庭にお知らせする学校だよりには明るい話題、誇らしい話題に事欠きませんでした。みなさんのお蔭で、本校教職員は毎日、充実感をもって教育活動にいそむことができました。心から感謝の言葉を贈らせていただきます。

そして、そんな君たちです。私からの感謝の言葉を受けながらも、家族や地域の方々や友達への感謝も思い浮かべていたのではないのでしょうか。そう、感謝の気持ちは循環するのです。これまでの自分を支えてもらったこと、一つの目標のために助け合ってきたことへの感謝など、思いを態度で表すことで感謝は広がっていきます。お互いへの感謝の気持ちを忘れないようにしましょう。

二つ目の言葉は「ここからがスタート」という期待の言葉です。卒業式はおめでたい「晴れの日」です。しかし卒業はゴールではなく、これからの、スタートするという門出を祝う日ということです。「ここからがスタート」という言葉は多くの人が使っていますが、ここでは皆さんもよく知っているフィギュアスケートの羽生結弦選手の言葉を紹介します。羽生結弦選手は昨年、世界歴代最高得点で、史上初のグランプリファイナル三連覇を達成しました。しかし、羽生選手は、「自分には特別な才能がある訳ではない、自分にやれることを、今からスタートする」という気持ちを実行しているだけと言っています。

羽生選手は、自分では言いませんが、小児ぜんそくという病気をもち、屋外での運動はできませんでした。いまでも、毎日薬を服用しているそうです。「でも運動をしたい。それならやれるものからスタートしよう。」としてフィギュアスケートを始めたそうです。また、5年前には、仙台で東日本大震災に被災しています。こわれたスケートリンク、被災して生活にも困っている人、自分でも何もしない環境でした。それでも、多くの人に励まされて、今、自分ができるとはと考え、スケートの練習をスタートしました。大会で優勝しても「ここからがスタート」という言葉を忘れないようにしているそうです。皆さんも今「ここからがスタート」です。皆さんも自分がやれることを考えて、目標を持ち未来に向けてスタートしてください。 以下略

2 卒業式の感想

卒業式の合唱では、とてもみんなが声を出していて、卒業生をみんなで送ってよかったです。これからも、3年生のように立派になれるようにしていきたいです。3年生に教えてもらったこともあるので、それを今後に生かしていきたいと思います。

1年1組 舘野 彪馬
始めて中学校の卒業式を見て、色々な意味ですごかったです。卒業する先輩方の姿はともたくましく、やっぱりかっこいいなと思いました。1年間、お世話になった先輩方に感謝の気持ちを伝えられた卒業式にできたと、私自身思いました。 1年1組 高山 結衣

卒業式の前日に立てた目標どおりにできたかと思えます。そして、サプライズでの“ありがとうございました”の一言に、今までの感謝の気持ちを込めて言えました。先輩方が卒業してしまうのは、悲しくて、さびしいけれど、先輩方が残してくださった伝統を守り、南河内中をよりよい学校にしていきたいです。 1年2組 砂岡 玖羅々

「私は、先輩たちを見てすごいと思ったことがあります。それは泣けなかったことです。よく泣かないで最後までできたなと思いました。1年間、ずっとこの中学校にいた3年生が明日からいないと思うとすごく悲しいです。また、自分の夢を叶えようとしている先輩たちがかっこよくて、私もちゃんと勉強して自分の夢を叶えたいです。この卒業式でいろいろなことを学びました。 1年2組 伊沢 梨那

初めて私たちが中心になって卒業式を行いました。私がやった仕事は“祝章”です。祝詞を飾ったり、当日、卒業生の胸に祝花を付ける仕事です。祝詞は、これまで南河内中学校を支えた先生方や、お世話になった小学校や幼稚園の方々から、卒業生に向けたたくさんの“おめでとう”がありました。祝花を付けるとき、私は卒業生の皆さんの凜としたたたずまいをとてまかつこいいなと感じ、同時に私は、このような態度で卒業を迎えることができるのか心配になりました。当日の卒業式で後ろから見た先輩の姿はふらふらとしないですぐステージを見つめ、本当に立派でかつこよかったです。私も来年、こんなふうになりたいと思いました。

2年1組 上野 葉菜

2年間お世話になった3年生の先輩方が卒業しました。部活動や体育祭、夕顔祭など様々な場面でリーダーシップをとって指示してくださいました。なので感謝の気持ちで恩返しできるような卒業式にしたいと思っていました。卒業式当日は、きちんとした態度で、感謝の思いが伝わるような全校合唱ができたと思います。“さよなら卒業生”では先輩方が涙を流していて少しでも私たちの思いが伝わったかなと思いました。先輩方から“がんばってね”などの声をかけてくださり、とても嬉しかったです。これから3年生という最高学年になるので、ふさわしい3年生になるように学校生活を過ごしていきたいと思っています。

2年2組 荒井 悠里

3 3月後半、4月始めの予定

3月15日（火）認知症サポーター講座
（1年生）

16日（水）学年朝会

24日（木）修了式

31日（木）離任式

11:00～ 体育館

4月 7日（木）新任式 入学式準備

8日（金）始業式、入学式

11日（月）学活、身体計測

12日（火）授業開始

※離任式、新任式、始業式等の詳しい日程
登校時間、持ち物等は、後日、担任より
連絡いたします。

4 28年度の予定（仮）

現段階での28年度の行事予定をお知らせ
します。対外的な関係もありますので確定で
はありませんが、授業参観、体育祭などの予
定をお知らせします。

4月28日（木）授業参観・PTA総会

5月28日（土）体育祭（雨天順延）

6月10日（金）～1年宿泊学習（1泊）

6月18日（土）～3年修学旅行（2泊）

7月 6日（水）授業参観・保護者会

10月29日（土）夕顔祭

11月12日（土）父親授業参観

12月 5日（月）授業参観・保護者会

2月 8日（水）～2年宿泊学習（2泊）

3月 9日（木）卒業式

確定した年間行事予定表は、4月始めに配
布いたします。

